

Syllabus

シラバス

2026年度

Nagasaki
University
School
of
Dentistry

長崎大学歯学部

歯学部の授業内容は歯科大学学長・歯学部長会議で定めた「歯科医学教授要綱」にそって行われており、さらに授業方法は担当教員一人ひとりの創意、工夫に委ねられている。したがって、それぞれの科目の授業の特色を知って出席することが、授業を実り多いものにするのに欠かせない。

「シラバス」 syllabus（授業計画書）とは、学生諸君が初めて出会う授業に戸惑わないよう、その内容や方法をあらかじめ伝え、一方通行ではない、大学らしい授業を行うために各担当者により執筆されたガイドブックである。

ここに盛られているのは、授業の概要及び位置づけ、授業の到達目標、授業の方法、教科書と参考書、成績評価の方法、注意事項、それに順を追った授業計画である。「シラバス」に目を通すことによって、担当教員がこの授業によって何を伝えようとしているのか、どういう進め方をするのか、学生に何を準備して授業に参加してほしいと期待しているかがわかるはずである。授業を受ける前に熟読すれば、効果的な予習の役に立ち、また復習や試験勉強の格好のガイドにもなる。教員の要求する準備をして授業に臨めば、共通のベースに立脚した質疑応答が活発に行われ、双方向的な授業の展開が可能になるだろう。

さらに、全学的な授業評価アンケートも実施しているので、学生側からの意思表示もより明確にできると考える。

なお、臨床実習を開始するに十分な知識の有無を問う共用試験（CBT・OSCE）は、教育ガイドラインである歯学教育モデル・コア・カリキュラムに対応し実施されている。

臨床実習に関しては、別に用意した詳細な「臨床開始前実習の手引」及び「臨床実習の手引」が「シラバス」に相当するので、本冊子には含まれていない。

授業を受けるにあたって、該当科目の「シラバス」を十分に活用し、下記の歯学部の理念を念頭に、教育目標を達成してほしい。

歯学部の理念

基本的教養と幅広い歯科口腔医学専門知識を修得し、今後の歯科口腔医学、歯科口腔医療を切り拓くとともに社会に信頼される歯科医師および研究者を養成する。

歯学部の教育目標

- (1) 責任感、社会性を持ち、歯科医師としての倫理観と豊かな人間性を身につけている。
- (2) コミュニケーション能力と協調性を身につけている。
- (3) 生命科学へのリサーチマインドを身につけている。
- (4) 離島等の地域歯科医療について、保健・医療・福祉の側面から総合的に考えることができる。
- (5) 先進的な歯科口腔医療に対応できる幅広い知識と基本的技能を身につけている。

アクセシビリティ

長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、各授業の担当教員または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談ください。

アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先

(TEL) 095-819-2006 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp

歯学教育モデル・コア・カリキュラム(平成28年度改訂版) 概要

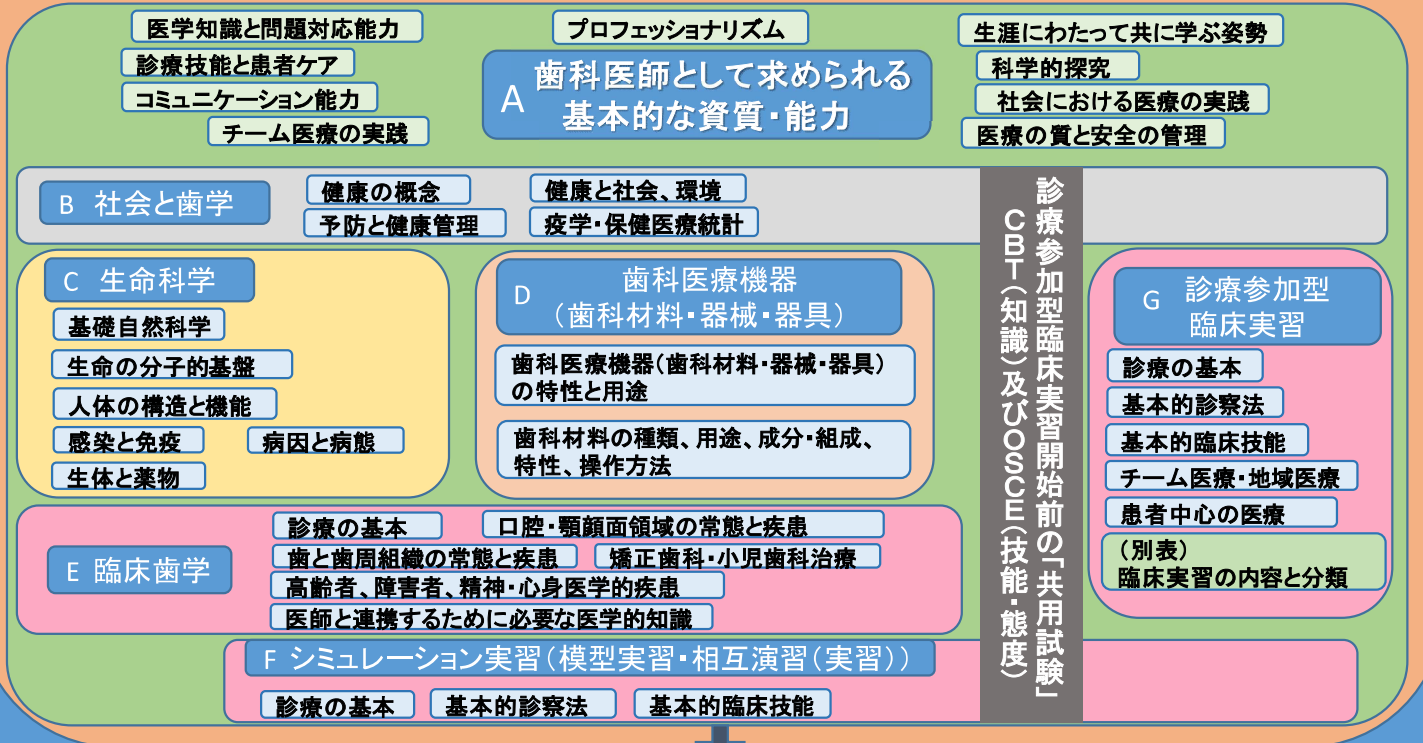
- 学生が卒業時まで身に付けておくべき、必須の実践的診療能力(知識・技能・態度)を、「ねらい」と「学修目標」として明確化
- 学生の学修時間数の6割程度を目安としたもの
- 「歯科医師として求められる基本的な資質・能力」として、ミニマム・エッセンスである項目を記載

【各大学のアドミッション・ポリシー】

【各大学のカリキュラム・ポリシー】

【各大学のディプロマ・ポリシー】

多様なニーズに対応できる歯科医師の養成



各大学の特色ある独自のカリキュラム(学生の学修時間数の4割程度)

※ 各大学が教育理念に基づいて設置する独自の教育内容(学生が自主的に選択できるプログラムを含む)

歯科医師法に基づく歯科医師国家試験(知識)

診療参加型臨床実習終了時の技能・態度評価

医学/歯学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）概要

- 各大学が策定する「カリキュラム」のうち、全大学で共通して取り組むべき「コア」の部分を抽出し、「モデル」として体系的に整理したもの。
- 初版は平成13年3月に策定。医療を取り囲む環境変化に伴い改訂（平成19年度、22年度、28年度）。
- 学生が卒業時まで身に付けておくべき必須の実践的診療能力（知識・技能・態度）に関する学修目標を明確化。
- 学生の学修時間数の医学:3分の2程度、歯学:6割程度を目安としたもの（残りは各大学の特色ある独自のカリキュラムを実施）。

キャッチ
フレーズ

「未来の社会や地域を見据え、多様な場や人をつなぎ活躍できる医療人の養成」



人口減地域の
増加

新興感染症・
災害リスクの増大



高齢化率の
上昇



新規科学技術の
台頭



「医師/歯科医師に求められる基本的な資質・能力」を共通化（赤字は新設）

PR. プロフェッショナリズム

IT. 情報・科学技術を活かす能力

GE. 総合的に患者・生活者をみる姿勢

CS. 患者ケアのための診療技能

LL. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢

CM. コミュニケーション能力

RE. 科学的探究

IP. 多職種連携能力

PS. 専門知識に基づいた問題解決能力

SO. 社会における医療の役割の理解



令和8年度歯学部行事予定表

— 前 期 —

学年開始	4月 1日 (水)
授業開始 (2～6年)	4月 1日 (水)
入学式	4月 2日 (木)
新入生学部オリエンテーション (1年)	4月 3日 (金)
入学時ワークショップ (1年)	4月 4日 (土)
授業開始 (1年)	4月 6日 (月)
臨床開始前実習 (5年)	5月 7日 (木) ～ 10月 2日 (金)
CBT (5年)	6月 16日 (火)
OSCE (5年)	7月 25日 (土)
前期定期試験時間割発表	7月 9日 (木)
授業終了 (1～4年)	7月 28日 (火)
授業終了 (5年)	7月 24日 (金)
定期試験期間 (1年)	8月 3日 (月) ～ 4日 (火)
定期試験期間 (2～4年)	7月 23日 (木) ～ 31日 (金)
定期試験期間 (5年)	8月 17日 (月) ～ 21日 (金)
夏季休業 (1年)	8月 5日 (水) ～ 9月 25日 (金)
夏季休業 (2～4年)	8月 3日 (月) ～ 9月 25日 (金)
夏季休業 (5年)	7月 27日 (月) ～ 8月 14日 (金)、 8月 24日 (月) ～ 9月 18日 (金)
CBT追再試験 (5年)	8月 4日 (火)
OSCE追再試験 (5年)	8月 22日 (土)
臨床知識理解度試験 (6年)	8月 17日 (月) ～ 18日 (火)
臨床知識理解度試験追試験 (6年)	8月 19日 (水) ～ 20日 (木)
追・再試験時間割発表 (1～4年)	8月 7日 (金)
追・再試験時間割発表 (5年)	8月 24日 (月)
追試験期間 (1～4年)	8月 17日 (月) ～ 18日 (火)
追試験期間 (5年)	8月 25日 (火) ～ 26日 (水)
再試験期間 (1年)	8月 24日 (月) ～ 25日 (火)
再試験期間 (2～4年)	8月 24日 (月) ～ 26日 (水)
再試験期間 (5年)	8月 31日 (月) ～ 2日 (水)
CSX (6年)	9月 10日 (木)
CSX追試験 (6年)	9月 24日 (木)
臨床知識理解度試験再試験 (6年)	9月 14日 (月) ～ 15日 (火)
前期成績発表	9月の指定する日

— 後 期 —

授業開始	9月28日(月)
臨床実習(5年)	10月5日(月)～翌年度9月末
卒業認定試験(6年)	10月22日(木)～23日(金)
解剖体慰霊祭	10月22日(木)
歯学部祭	10月中旬～11月下旬頃
卒業認定試験追再試験(6年)	11月12日(木)～13日(金)
冬季休業(1～4年)	12月24日(木)～12月31日(木)
後期定期試験時間割発表	1月19日(火)
授業終了(1～4年)	2月1日(月)
定期試験期間(1年)	2月2日(火)、8日(月)
定期試験期間(2～4年)	2月2日(火)～8日(月)
追・再試験時間割発表(1～4年)	2月10日(水)
追試験期間(1年)	2月15日(月)
追試験期間(2～4年)	2月12日(金)
再試験期間(1年)	2月22日(月)
再試験期間(2～4年)	2月17日(水)～19日(金)
卒業式	3月25日(木)
学年終了	3月31日(水)
後期成績発表	3月の指定する日

令和8年度歯学部カレンダー(1年次)

前期:4月6日(月)~8月4日(火)

1Q:4月6日~6月8日

2Q:6月9日~8月4日

後期:9月28日(月)~2月8日(月)

3Q:9月28日~11月30日

4Q:12月1日~2月8日

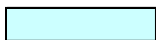
	日	月	火	水	木	金	土
R8年 4月				1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	1	2
5月	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
6月	31	1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	1	2	3	4
7月	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	31	1
8月	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
9月	30	31	1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	後期28	後期29	後期30			
回数	-	15	15	-	-	-	-

	日	月	火	水	木	金	土
9月	27	28	29	30	1	2	3
10月	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	31
11月	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
12月	29	30	1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30	31	1	2
R9年 1月	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
2月	31	1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
3月	28	1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	31			
回数	-	15	15	-	-	-	-

注:9月28日(月)は後期の授業開始日



休業日等(1/19(火)は共通テスト試験監督等振替、1/22(金)は学校推薦型選抜Ⅱ当日)



授業日



補講日(補講を実施しない場合は定期試験日として利用可能)



振替日:7/21(火)は月曜日の授業を実施



定期試験日



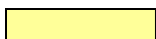
追試験日



再試験日



入学式、教養教育オリエンテーション



学部オリエンテーション

注:1年次授業は月~火曜日が専門教育、水~金曜日は教養教育である。

1年次の教養教育の授業開始日は4月8日(水)から。

(令和8年度)歯学部授業時間割
(前期)(1Q・2Q)

曜日	I		II		III		IV		V		
	8:50	10:20	10:30	12:00	13:00	14:30	14:40	16:10	16:20	17:50	
学年	1	2	3	4	5	6	7	8			
月	1	歯科学のための物理科学(講3B)	細胞生物学入門Ⅰ(講3B)	歯学展望(講3B)	骨学及び同実習(歯解実・講3B・医2講・医1実)			教養教育:初年次セミナー(坂本)			
	2	教養教育									
	3	微生物学・口腔微生物学(講3A)			薬理学及び同実習(講3A・実5C)						
	4	歯科矯正学及び同実習(講6A・臨4B)			予防歯科学及び同実習(講6A・臨4B)				基礎歯学研究		
	5	統合科目(講6B)									
	6	臨床実習								基礎歯学輪講(講3A)	
火	1	(1Q)学内・学外早期体験実習/(2Q)歯科医師のコンピテンシーⅠ(講3B)		細胞生物学プラクセス(講3B)		教養教育:初年次セミナー(坂本)					
	2	教養教育									
	3	薬理学及び同実習(講3A・実5C)	(1Q)微生物学・口腔微生物学(講3A)/(2Q)病理学総論及び同実習(講3A・実5B)			病理学総論及び同実習(講3A・実5B)					
	4	歯科矯正学及び同実習(講6A)	保存修復学(講6A)		保存修復学実習(臨4B)						
	5	統合科目(講6B)									歯学研究
	6	臨床実習									
水	1	教養教育									
	2	生理学(講3B)/生理学実習(実5C)			(1Q)教養教育:歯科学のための生物科学(講3B)		(1Q)教養教育:歯科学のための化学(講3B)				
	3	歯科理工学Ⅰ/歯科理工学Ⅱ/歯科理工学Ⅲ(講3A)			口腔組織学及び同実習(講3A・実5B)						
	4	(1Q)災害口腔医学/(2Q)小児歯科学・小児歯科学実習(講6A)		歯内治療学(講6A)		歯内治療学実習(臨4B)					
	5	統合科目(講6B)									
	6	臨床実習								歯学研究	
木	1	教養教育									
	2	解剖学及び同実習(講3B・歯解実)							歯科医師のコンピテンシーⅡ(講3B)		
	3	内科学総論(講3A)		歯科東洋医学(講3A)/Scientific and Practical English(講3A)							
	4	障害者歯科学(講6A)		歯科医師のコンピテンシーⅣ(講6A)		冠橋義歯学及び同実習(講6A・臨4B)					
	5	統合科目(講6B)									
	6	臨床実習									
金	1	教養教育									
	2	生化学(講3B)		発生学(講3B)		生理学(講3B)/生理学実験(実5C)					
	3	外科学総論(講3A)	口腔解剖学及び同実習(歯解実・講3A)			コミュニティー教育・実習(講3A)			(1Q)基礎歯学研究概論(講3A)/(2Q)基礎歯学研究		
	4	歯科麻酔学及び同実習(講6A)				有床義歯補綴学及び同実習(講6A・臨4B)					
	5	統合科目(講6B)									
	6	臨床実習								基礎歯学輪講(講3A)	

※ 教室名と略語の対応は以下のとおり。

講3A・・・講義室3A(C棟3階)
講3B・・・講義室3B(C棟3階)
講6A・・・講義室6A(C棟6階)
講6B・・・講義室6B(C棟6階)

実5A・・・実習室5A(C棟5階)
実5B・・・実習室5B(C棟5階)
実5C・・・実習室5C(C棟5階)
歯解実・・・歯学部解剖実習室(A棟7階)

臨4B・・・臨床実習室4B(C棟4階)
医2講・・・医学部第2講義室
医1実・・・医学部第1実習室

時間割

90分授業
1校時 8:50-10:20
2校時 10:30-12:00
3校時 13:00-14:30
4校時 14:40-16:10
5校時 16:20-17:50

60分授業
1校時 8:50-9:50
2校時 10:00-11:00
3校時 11:10-12:10
4校時 13:00-14:00
5校時 14:10-15:10
6校時 15:20-16:20
7校時 16:30-17:30
8校時 17:40-18:40

(令和8年度)歯学部授業時間割
(後期)(3Q・4Q)

曜日	校時	I		II		III		IV		V	
		8:50	10:20	10:30	12:00	13:00	14:30	14:40	16:10	16:20	17:50
年次		1	2	3	4	5	6	7	8		
月	1	細胞生物学入門Ⅱ(講3B)		歯学展望(講3B)							
	2	長崎大学グローバルインターンシップ・プログラム(講6B)				長崎大学グローバルインターンシップ・プログラム(オンライン自主学習)					
	3	内科学各論(講3A)		微生物学・口腔微生物学(講3A)		外科学各論(講3A)		(4Q)歯科法医学(講3A)		隣接医学Ⅱ(講3A)	
	4	歯周病学(講6A)		統合科目(スポーツ歯学)/統合科目(総合歯科学Ⅰ)(講6A)		歯周病学実習(臨4B)				基礎歯学研究	
	5	臨床実習									
	6	臨床実習/高次口腔医療学									(3Q)歯科医療管理学(講3A)
火	1	学内・学外早期体験実習(講3B)									
	2	長崎大学グローバルインターンシップ・プログラム(講6B)				生化学実験(実5A)					
	3	(3Q)医学統計学/(4Q)コンピテンシーⅢ(講3A)	口腔病理学及び同実習(講3A・実5B)								
	4	統合科目(臨床解剖学)(講6A・歯解実・医解実)				口腔外科学Ⅰ及び同実習(講6A・臨4B)				実践臨床歯科英会話(講6A)	
	5	臨床実習									
	6	臨床実習/高次口腔医療学									(3Q)コンピテンシーⅣ/臨床歯学セミナー(講6B)
水	1	教養教育									
	2	(3Q)長崎大学グローバルインターンシップ・プログラム(講6B)				(3Q)長崎大学グローバルインターンシップ・プログラム(オンライン自主学習)					
	3	隣接医学Ⅰ・Ⅱ(講3A)		(4Q)解剖学及び同実習(講6B・歯解実・医解実)				(3Q)歯科理工学実験(講3A・実5C)		(4Q)隣接医学Ⅱ(講3A)	
	4	高齢者歯科学(講6A)		小児歯科学/小児歯科学実習(講6A・臨4B)							
	5	臨床実習									
	6	臨床実習/高次口腔医療学									(3Q)歯科医療管理学(講3B)
木	1	教養教育									
	2	解剖学及び同実習(講6B・歯解実・医解実)									
	3	(3Q)隣接医学Ⅲ(講3A)	(3Q)口腔微生物学実習(講3A・実5A)								
	4	(4Q)隣接医学Ⅰ・Ⅱ(講3A)	(4Q)衛生学及び同実習(講3A・実5A)				冠橋義歯学及び同実習(講6A・臨4B)		臨床歯学研究概論(講6A)		
	5	臨床実習									
	6	臨床実習/高次口腔医療学									(3Q)歯科医療管理学(講3B)
金	1	教養教育									
	2	組織学及び同実習(講6B・実5B)									
	3	歯科薬理学(講3A)/口腔生理学(講3A)				口腔生化学(講3A)		基礎歯学研究			
	4	口腔外科学Ⅱ及び同実習(講6A・臨4B)				有床義歯補綴学及び同実習(講6A・臨4B)					
	5	臨床実習/医哲学・医療倫理(医学部記念講堂)(10月の2日間)									
	6	臨床実習/高次口腔医療学									(3Q)歯科医療管理学(講3B)

※ 教室名と略語の対応は以下のとおり。

講3A・・・講義室3A(C棟3階)
講3B・・・講義室3B(C棟3階)
講6A・・・講義室6A(C棟6階)
講6B・・・講義室6B(C棟6階)

実5A・・・実習室5A(C棟5階)
実5B・・・実習室5B(C棟5階)
実5C・・・実習室5C(C棟5階)
歯解実・・・歯学部解剖実習室(A棟7階)

臨4B・・・臨床実習室4B(C棟4階)
医解実・・・医学部解剖実習室
医講4・・・医学部第4講義室(病院2階)

時間割

90分授業
1校時 8:50-10:20
2校時 10:30-12:00
3校時 13:00-14:30
4校時 14:40-16:10
5校時 16:20-17:50

60分授業
1校時 8:50-9:50
2校時 10:00-11:30
3校時 11:10-12:10
4校時 13:00-14:00
5校時 14:10-15:10
6校時 15:20-16:20
7校時 16:30-17:30
8校時 17:40-18:40

総合科目（1年次生～5年次生）

(1) 学内・学外早期体験実習	(1年) 2
(2) 学内・学外早期体験実習	(1年) 5
(3) 歯学展望	(1年) 8
(4) コミュニティー教育・実習	(3年) 12
(5) 歯科東洋医学	(3年) 15
(6) Scientific and Practical English	(3年) 18
(7) 歯科医師のコンピテンシー I	(1年) 21
(8) 歯科医師のコンピテンシー II	(2年) 23
(9) 歯科医師のコンピテンシー III	(3年) 25
(10) 歯科医師のコンピテンシー IV	(4年) 28
(11) 歯科医師のコンピテンシー V	(5年) 31

年度 2026学期 1Q	曜日・校時 火・1～2	必修選択 必修	単位数 (3.5)
科目番号	25064401		
科目ナンバリング・コード	DNGD11011098		
授業科目名/(英語名)	学内・学外早期体験実習/(Early Exposure)		
対象年次 1年次	講義形態 講義・実習形式	教室 講義室 3B	
対象学生(クラス等)	科目分類 総合科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 歯学部教務委員長/gaku_den@ml.nagasaki-u.ac.jp/歯学部学務係/095-819-7613/9:00～17:00			
担当教員(オムニバス科目等)	角 忠輝、近藤好夫、久松徳子、多田浩晃、住田吉慶、入江浩一郎、吉田教明、藤田優子、吉村篤利、澤瀬 隆、原田佳枝、平 曜輔、山田朋弘、角 美佐、讃岐拓郎、他		
授業の概要 歯学部の臨床分野の様子を早期に見学し、今後の講義・実習への学習意欲を高める。			
授業到達目標 一般目標 GIO: 歯学に興味をもち、今後の歯学部の講義・実習の学習意欲を高める。 個別行動目標 SBOs: 【令和4年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】 ○医療職として必要な態度をもつことができる。 C-1-1 ○大学病院の歯科臨床(歯科診療部門)の実情を説明できる。 C-1-3			
対応するディプロマポリシー DP8:患者に信頼感と安心感を与えることができる高いコミュニケーション能力を身につけている。 DP9:多職種との間で協調性を持ってチーム医療を実践できる。 DP10:離島へき地をはじめとする地域・国際社会に貢献する強い意思を持って、歯科口腔医療を実践できる。			
授業方法(学習指導法) 臨床歯学分野の見学を中心にローテートする。			
授業内容 1～2回目:オリエンテーション, 総合歯科臨床教育学 3 回 目:歯周歯内治療学 4 回 目:歯科麻酔学 5～7回目:歯科矯正学、小児歯科学 8～9回目:口腔保健学、口腔顎顔面外科学 10-12回目:口腔インプラント学、歯科補綴学、保存修復学 13-14回目:先進口腔医療開発学、口腔診断・情報科学			
キーワード	歯科部門, 早期体験		
教科書・教材・参考書	なし		
成績評価の方法・基準等	レポートにより評価する。 また、授業への貢献度も評価の対象とする。		
受講要件(履修条件)	医療関係者としての態度を重視するので、原則欠席、遅刻は認めない。		
備考(学生へのメッセージ)	第1回目は、説明と患者体験実習として6年生による口腔検診を受ける。		
実務経験のある教員による授業科目	<ul style="list-style-type: none"> ・角 忠輝/長崎大学病院における実務経験/診療経験を活かし、各分野における臨床の実情を説明する ・近藤 好夫/長崎大学病院における実務経験/診療経験を活かし、各分野における臨床の実情を説明する ・久松 徳子/長崎大学病院における実務経験/診療経験を活かし、各分野における臨床の実情を説明する ・多田 浩晃/長崎大学病院における実務経験/診療経験を活かし、各分野における臨床の実情を説明する ・吉村 篤利/長崎大学病院における診療実務経験/診療経験を活かし、各分野における臨床の実情を説明する ・讃岐 拓郎/長崎大学病院における歯科麻酔診療業務を継続中/診療経験を活かし、各分野における臨床の実情を説明する ・角 美佐/長崎大学病院における画像診断業務を継続中/診療経験を活かし、各分野にお 		

	<p>る臨床の実情を説明する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吉田 教明／長崎大学病院における診療実務経験／診療経験を活かし、各分野における臨床の実情を説明する ・藤田 優子／長崎大学病院小児歯科での歯科臨床経験／診療経験を活かし、各分野における臨床の実情を説明する ・入江 浩一郎／長崎大学病院における診療実務経験／診療経験を活かし、各分野における臨床の実情を説明する ・山田 朋弘／長崎大学病院における口腔外科診療業務を継続中／診療経験を活かし、各分野における臨床の実情を説明する ・澤瀬 隆／長崎大学病院における診療実務経験／診療経験を活かし、各分野における臨床の実情を説明する ・村田 比呂司／長崎大学病院における歯科補綴診療業務を継続中／診療経験を活かし、各分野における臨床の実情を説明する ・平 曜輔／長崎大学病院における歯科補綴診療業務を継続中／診療経験を活かし、各分野における臨床の実情を説明する ・住田 吉慶／長崎大学病院における診療実務経験／診療経験を活かし、各分野における臨床の実情を説明する
--	---

日程表(早期体験実習)

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1-2回	4	7	火	1~2	オリエンテーション 総合歯科臨床教育学	各教員	講義室3B
3回	4	14	火	2	歯周歯内治療学	各教員	講義室3B
4回	4	21	火	1	歯科麻酔学	各教員	講義室3B
5-7回	4	28	火	1~3	1~3限 歯科矯正学、小児歯科学 合同 ※白衣を持参すること	各教員	講義室3B スキルスラボ 臨床実習室4A
8-9回	5	12	火	1~2	1限:口腔保健学 2限:口腔顎顔面外科学	各教員	講義室3B
10-12回	5	19	火	1~3	1~3限 口腔インプラント学、歯科補綴学、保存修復学 合同	各教員	講義室3B
13-14回	5	26	火	1~2	1限:先進口腔医療開発学 2限:口腔診断・情報科学	各教員	講義室3B

年度 2026 学期 3・4Q	曜日・校時 火・2～7	必修選択 必修	単位数 (3.5)
科目番号	25064401		
科目ナンバリング・コード	DNGD11011098		
授業科目名/(英語名)	学内・学外早期体験実習/(Early Exposure)		
対象年次 1年次	講義形態 講義・実習形式	教室 講義室 3A	
対象学生(クラス等)	科目分類 総合科目		
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 歯学部教務委員長/gaku_den@ml.nagasaki-u.ac.jp/歯学部学務係/095-819-7613/9:00～17:00 学生 12～13 名に1名の教員をチューターとして配属しているので、実習期間中は連絡を密にとること。			
担当教員(オムニバス科目等)	歯学部教員, 大学病院教職員, 学外非常勤講師		
授業の概要 専門的知識の乏しい1年次に地域歯科医療の最前線である開業歯科医院および病院歯科等へ出向き、先入観のない視点から歯科医療を見つめ、今後の専門教育への動機付けとする。 また歯科と連携を図らなければならない多職種(看護師, 栄養士, 作業療法士など)の業務を体験, 理解する。			
授業到達目標 一般目標 GIO: 歯科医療を理解し、専門教育に興味をもつ。 個別行動目標 SBOs: 【令和4年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】 1 社会的に歯科医師に求められているものを議論できる。 C-1-1 2 各自の将来の歯科医師像を想像することができる。 C-1-3 3 患者中心の多職種連携を体感する。 4 医療職として必要な態度をもつことができる。			
対応するディプロマポリシー DP8:患者に信頼感と安心感を与えることができる高いコミュニケーション能力を身につけている。 DP9:多職種との間で協調性を持ってチーム医療を実践できる。 DP10:離島へき地をはじめとする地域・国際社会に貢献する強い意思を持って、歯科口腔医療を実践できる。			
授業方法(学習指導法) 受け入れ歯科医院等へ学生が出向き、指定の時間を診療室での見学を行い、診療設備、歯科医師-患者-スタッフ間でのコミュニケーションの重要性を観察する。また、長崎市の歯科医療の実態や歯科以外のコメディカル・コデンタルの業務を見聞する。			
授業内容 1 回目 オリエンテーション1・多職種による講義1 2 回目 多職種による講義2 3 回目 学外実習1 4 回目 学外実習2 5 回目 グループ討論と発表会1 6 回目 学内・学外実習3 7 回目 学内・学外実習4 8 回目 学内・学外実習5 9 回目 学内・学外実習6 10 回目 学内・学外実習7 11 回目 グループ討論と発表会2 12 回目 グループ討論と発表会3 13 回目 多職種による講義3 14 回目 多職種による講義4 15 回目 まとめ(学内・学外体験実習振り返り・総括)			
キーワード	臨床現場、多職種連携、歯科医師像		
教科書・教材・参考書	なし		
成績評価の方法・基準等	事前・事後レポート、最後の発表会も内容及び最終報告レポートを加味して評価する。 また、授業への貢献度も評価の対象とする。		

受講要件(履修条件)	医療関係者としての態度を重視するので、原則欠席、遅刻は認めない。 特に1回目のオリエンテーションを受けていない学生は <u>学外実習には参加させない。</u>
備考(学生へのメッセージ)	学研災に必ず加入すること。入学時に指示された予防接種を接種すること。 長崎県歯科医師会や大学病院看護部等の全面的な後援のもとに実施可能となっているので、配属先の歯科医院および病院等に失礼のないように十分注意する。(挨拶、態度、時間厳守)
実務経験のある教員による授業科目	・市内の歯科医院等／市中の歯科医院での一般歯科診療を見学、体験させることで地域歯科医療の現場を理解させる実習を行っている。

日程表(学外早期体験実習)

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	9	29	火	2～7	オリエンテーション・多職種による講義1	非常勤講師	講義室3B
2回	10	6	火	2～7	多職種による講義2	非常勤講師	C棟1階 講義室1B
3回	10	13	火	2～7	多職種による講義3	非常勤講師	C棟1階 講義室1B
4回	10	20	火	2～7	学外実習1	市内歯科医院	講義室3B
5回	10	27	火	2～7	学外実習2	市内歯科医院	講義室3B
6回	11	10	火	2～7	グループ討論と発表会1	歯学部教員	C棟1階 講義室1B
7回	11	17	火	2～7	グループ討論と発表会2	歯学部教員	講義室3B
8回	11	24	火	2～7	学外実習3	市内歯科医院	講義室3B
9回	12	1	火	2～7	学外実習4	市内歯科医院	講義室3B
10回	12	8	火	2～7	グループ討論と発表会3	歯学部教員	講義室3B
11回	12	15	火	2～7	グループ討論と発表会4	歯学部教員	講義室3B
12回	12	22	火	2～7	多職種による講義4	非常勤講師	講義室3B
13回	1	5	火	2～7	多職種による講義5	非常勤講師	講義室3B
14回	1	12	火	2～7	多職種による講義6	非常勤講師	講義室3B
15回	1	19	火	2～7	まとめ (レポート・個人発表等)	教務委員長	講義室3B

年度 2026 学期 通年	曜日・校時 前期:月・3 後期:月・3	必修選択 必修	単位数 2
科目番号	25064403		
科目ナンバリング・コード	DNGD11021098		
授業科目名/(英語名)	歯学展望/(Dental Outlook)		
対象年次 1年次	講義形態 講義形式	教室 講義室 3B	
対象学生(クラス等)	科目分類 総合科目		
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 歯学部教務委員長/gaku_den@ml.nagasaki-u.ac.jp/歯学部学務係/095-819-7613/9:00~17:00			
担当教員(オムニバス科目等)	中村渉、門脇 知子、片瀬直樹、哲翁ふみ、バラネザハド有礼左、筑波隆幸、伊藤公成、小山田常一、山下裕美、松下祐樹、入江浩一郎、吉田教明、藤田優子、吉村篤利、澤瀬隆、村田比呂司、平 曜輔、住田吉慶、山田朋弘、角美佐、讃岐拓郎、久松徳子、真方信明、非常勤講師		
授業の概要 歯科医師になるため、これから6年間学ぶ歯学教育・研究の専門的内容を分かりやすく説明し、歯学生としての自覚を養う。			
授業到達目標 一般目標 GIO: 6年間学ぶ歯学教育・研究の専門的内容を理解し、歯学生としての自覚を養う。 個別行動目標 SBOs: 1 歯学教育・研究の基本的な概要を説明できる。 2 基礎及び臨床科目の基本的な内容を説明できる。 【令和4年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】 LL:生涯にわたって共に学ぶ姿勢			
対応するディプロマポリシー DP5: 歯科口腔医療の現場における問題発見・解決能力を身につけ、リサーチマインドを修得している。 DP6: 多様化する歯科口腔医療のニーズに即応し、先端医療を実践するために、生涯に亘り自己主導型学習を継続できる。			
授業方法(学習指導法) 歯学教育・研究・臨床に関する主要テーマについて、主に歯学部の教員によるオムニバス方式の講義を行う。			
授業内容 (前期) (後期) 1回目 長崎大学歯学部の教育 1回目 保存修復学部門 2回目 生体材料学分野 2回目 歯周歯内治療学分野 3回目 歯科薬理学分野 3回目 口腔保健学分野 4回目 口腔病理学分野 4回目 歯科矯正学分野 5回目 口腔病原微生物学分野 5回目 口腔診断・情報科学分野 6回目 加齢口腔生理学分野 6回目 先進口腔医療開発学分野 7回目 フロンティア口腔科学分野 7回目 特別講義 8回目 分子腫瘍生物学分野 8回目 口腔顎顔面外科学分野 9回目 顎顔面解剖学分野 9回目 歯科補綴学分野 10回目 硬組織発生再生学分野 10回目 歯科麻酔学分野 11回目 歯科法医学分野 11回目 摂食嚥下リハビリテーション学 12回目 小児歯科学分野 12回目 特殊歯科総合治療部 13回目 口腔インプラント学分野 13回目 特別講義 14回目 予備日 14回目 予備日 15回目 予備日 15回目 予備日			
キーワード			
教科書・教材・参考書	なし		
成績評価の方法・基準等	前期・後期の定期試験期間中に求める講義内容に関するレポートで評価する。 また、授業への貢献度も評価の対象とする。		
受講要件(履修条件)	全体を通じて総授業数の2/3以上の出席が求められる。		
備考(学生へのメッセージ)	歯学部に入學した、将来歯科医師になる歯学生としての自覚を養ってほしい。 卒業後、国民に有益・有用な歯科医師となるよう入学時から真摯な態度で学習してほしい。		

<p>実務経験のある教員による授業科目</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・門脇 知子/九州大学病院における診療実務経験臨床経験を活かし歯学教育・研究に係る基礎知識を教授する。 ・片瀬 直樹/長崎大学病院での口腔病理専門医としての実務経験/基礎医学である病理学と臨床医学の病理診断学との関連を病理業務の経験を含めて解説する。 ・哲翁 ふみ/長崎大学病院における診療実務経験/臨床経験を活かし歯学教育・研究の臨床に係る基礎知識を教授する。 ・山下 裕美/長崎大学病院における診療実務経験/剖検、検案、生体鑑定の法医実務経験を活かし社会医学としての歯科法医学に係る基礎知識を教授する。 ・入江 浩一郎/長崎大学病院における診療実務経験/臨床経験を活かし歯学教育・研究の臨床に係る基礎知識を教授する。 ・吉村 篤利/長崎大学病院における診療実務経験/臨床経験を活かし歯学教育・研究の臨床に係る基礎知識を教授する。 ・平 曜輔/長崎大学病院における診療実務経験/臨床経験を活かし歯学教育・研究の臨床に係る基礎知識を教授する。 ・吉田 教明/長崎大学病院における診療実務経験/臨床経験を活かし歯学教育・研究の臨床に係る基礎知識を教授する。 ・澤瀬 隆/長崎大学病院における診療実務経験/臨床経験を活かし歯学教育・研究の臨床に係る基礎知識を教授する。 ・藤田 優子/長崎大学病院小児歯科での歯科臨床経験/診療経験を活かし、各分野における臨床的研究の指導を行う。 ・村田 比呂司/長崎大学病院における診療実務経験/臨床経験を活かし歯学教育・研究の臨床に係る基礎知識を教授する。 ・住田 吉慶/長崎大学病院における診療実務経験/臨床経験を活かし歯学教育・研究の臨床に係る基礎知識を教授する。 ・山田 朋弘/長崎大学病院における診療実務経験/臨床経験を活かし歯学教育・研究の臨床に係る基礎知識を教授する。 ・角 美佐/長崎大学病院における診療実務経験臨床経験を活かし歯学教育・研究の臨床に係る基礎知識を教授する。 ・讃岐 拓郎/長崎大学病院における診療実務経験/臨床経験を活かし歯学教育・研究の臨床に係る基礎知識を教授する。 ・久松 徳子/長崎大学病院における診療実務経験臨床経験を活かし歯学教育・研究の臨床に係る基礎知識を教授する。 ・真方 信明/長崎大学病院における診療実務経験/臨床経験を活かし歯学教育・研究の臨床に係る基礎知識を教授する。 ・永田 康浩/医師としての診療実務経験/臨床経験を活かし地域医療に関する基礎知識を教授する。 ・松下 祐樹/東京医科歯科大学病院・長崎大学病院における診療実務経験/臨床経験を活かし歯学教育・研究の臨床に係る基礎知識を教授する。
-------------------------	---

日程表(歯学展望(前期))

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	4	13	月	3	長崎大学歯学部 の教育 本学歯学部 のディプロマ・ポリシー、教育の概要等について説明する。	学部長	講義室3B
2回	4	20	月	3	生体材料学分野 生体材料と 歯科材料 歯科医療に果たす 歯科材料の役割	バラネザハド 有礼左	講義室3B
3回	4	27	月	3	歯科薬理学分野 薬はリスク 薬理学とはどのような 学問か	筑波 隆幸	講義室3B
4回	5	11	月	3	口腔病理学分野 病理学の役割 病理診断の実際	片瀬 直樹	講義室3B
5回	5	18	月	3	口腔病原微生物学分野 口腔細菌の意義 口腔常在菌の役割、 口腔細菌と疾患	哲翁 ふみ	講義室3B
6回	5	25	月	3	加齢口腔生理学分野 生体リズムの生理学 生体リズムを制御する 体内時計の神経回路と 生理学的意義について概説する。	中村 渉	講義室3B
7回	6	1	月	3	フロンティア口腔科学 分野 「口腔生化学」って？ 生体・口腔内の生命現象を 分子レベルで明らかにする 学問への挑戦	門脇 知子	講義室3B
8回	6	8	月	3	分子腫瘍生物学分野 「がん」をどのように研究 するか、その試みを紹介する。	伊藤 公成	講義室3B
9回	6	15	月	3	顎顔面解剖学分野 解剖学と人類学	小山田 常一	講義室3B
10回	6	22	月	3	硬組織発生再生学分野 骨の幹細胞がどのように骨の 再生に貢献し、がんを引き起 こすのか、骨の幹細胞の運命 を追跡する。	松下 祐樹	講義室3B
11回	6	29	月	3	歯科法医学分野 歯科法医学とは	山下 裕美	講義室3B
12回	7	6	月	3	小児歯科学分野 小児の歯科診療 小児と成人の違い、小児 歯科とは	藤田 優子	講義室3B
13回	7	13	月	3	口腔インプラント学分野 人工物で作る歯 人工物による歯質・歯牙欠損 の修復・回復	澤瀬 隆	講義室3B
14回	7	21	月	3	予備日		講義室3B
15回	7	27	月	3	予備日		講義室3B

日程表(歯学展望(後期))

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	9	28	月	3	保存修復学部門 う蝕をはじめとする歯の疾患と治療 接着材を使ったできるだけ歯を削らない治療	平 曜輔	講義室3B
2回	10	5	月	3	歯周歯内治療学分野 歯周疾患と治療 歯周疾患とは？現状と未来	吉村 篤利	講義室3B
3回	10	19	月	3	口腔保健学分野 予防歯科と全身の健康 全身の健康につながる歯科保健	入江浩一郎	講義室3B
4回	10	26	月	3	歯科矯正学分野 矯正歯科の未来 美と機能のトータルなハーモニーを生み出す矯正治療	吉田 教明	講義室3B
5回	11	2	月	3	口腔診断・情報科学分野 歯科・口腔領域の画像診断 最新の画像診断とその役割	角 美佐	講義室3B
6回	11	9	月	3	先進口腔医療開発学分野 臨床研究とトランスレーショナル・リサーチ 口腔領域の再生医療開発	住田 吉慶	講義室3B
7回	11	16	月	3	特別講義 歯科医療の未来とイノベーション	米澤 大地	講義室3B
8回	11	30	月	3	口腔顎顔面外科学分野 口腔外科の臨床と研究 安全・確実な治療を目指して	山田 朋弘	講義室3B
9回	12	7	月	3	歯科補綴学分野 歯科補綴学と健康長寿 有床義歯の役割	村田 比呂司	講義室1B
10回	12	14	月	3	歯科麻酔学分野 歯科医療と全身管理	讃岐拓郎	講義室1B
11回	12	21	月	3	摂食嚥下リハビリテーション学 摂食嚥下リハビリテーションについて	久松 徳子	講義室3B
12回	1	4	月	3	特殊歯科総合治療部 障害者の歯科診療	真方 信明	講義室3B
13回	1	18	月	3	特別講義 これからの地域医療連携で歯科に求められること	永田 康浩	講義室3B
14回	1	25	月	3	予備日		講義室3B
15回	2	1	月	3	予備日		講義室3B

年度 2026 学期 2Q	曜日・校時 火・1～2	必修選択 必修	単位数 0.5
科目番号	25064418		
科目ナンバリング・コード	DNGD11071098		
授業科目名/(英語名)	歯科医師のコンピテンシー I / (Competence for Dentist I)		
対象年次 1年次	講義形態 講義形式	教室 講義室 3B	
対象学生(クラス等)	科目分類 総合科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 角 忠輝/sumi@nagasaki-u.ac.jp/総合歯科臨床教育学教授室/095-819-7750(内 7750)/随時 ※来室前に確認のこと			
担当教員(オムニバ ス科目等)	角 忠輝, 平田創一郎(非常勤講師 東京歯科大学)		
授業の概要 歯科医師として求められる基本的な資質と能力を身につけるために、各学年においてスパイラル形式で講義、実習を積み重ねて行く。			
一般目標 GIO: 1 医療、歯科医療及び医学・歯学研究における倫理を遵守するために、その重要性を理解し、医療倫理・研究倫理に関する知識と態度を身に付ける。 2 豊かな人間性と生命の尊厳についての深い認識を有し、人の命と健康を守る歯科医師としての義務と責任を自覚する。 3 発展し続ける歯科医学の中で必要な知識を身に付け、根拠に基づいた医療(evidence-based medicine <EBM>)を基盤に、経験も踏まえながら、幅広い症候・病態・疾患に対応する。 個別行動目標 SBOs: 右記のコアカリキュラム参照	【令和4年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】 PR:プロフェッショナリズム(Professionalism) C-1 医の倫理、生命倫理と患者中心の歯科医療 患者中心の歯科医療を提供するために、プロフェッショナリズムを身に付ける。 C-2 課題探求と解決能力 発展し続ける歯科医学の中で必要な知識を身に付け、疫学と根拠に基づいた医療(EBM)を基盤に、広い症候、病態、疾患に対応する。 C-3 医療の質と患者安全の確保 患者の安全を最優先に確保した上で、良質な歯科医療を提供するために必要な知識を身に付ける。 C-4 健康と社会、環境 将来にわたり質の高い医療を継続して提供するために、その実践に必要な幅広い知識を身につけ、変化に対応する能力を涵養する。		
対応するディプロマポリシー DP7:患者中心の歯科口腔医療を展開するための豊かな人間性と倫理観を身につけている。			
授業方法(学習指導法) 講義, グループ討議など			
授業内容 1 回目 コンピテンシーとは、歯科医学教育とは、学修のあり方 入門 2 回目 歯学教育モデル・コア・カリキュラム 3 回目 プロフェッションとは 4 回目 歯科医師としての責務と裁量 (プロフェッショナリズム) 5 回目 医と生命倫理 1 6 回目 医と生命倫理 2 7 回目 歯科医師としての責務と裁量 (プロフェッショナリズム) 8 回目 歯科医師としての責務と裁量 (プロフェッショナリズム)			
キーワード	倫理, プロフェッショナリズム, 歯科医師		
教科書・教材・参考書	参考書:プロフェッションワークブック(日本歯科医学教育学会編 医歯薬出版)		
成績評価の方法・基準等	レポート, グループ討議を中心に、必要に応じて筆記試験も行う		
受講要件(履修条件)	自身の健康管理も歯科医師として必須事項である。したがって、学生健康診断未受験の学生には単位を与えない		
備考(学生へのメッセージ)			
実務経験のある教員による授業科目	・角 忠輝(第1～4・7・8回)/長崎大学病院における歯科臨床/医療倫理についての講義 ・平田 創一郎(第5・6回)/元厚生労働省医政局歯科保健課歯科医師臨床研修専門官、総務課医療安全推進室・経済課併任/厚生労働省での勤務経験を元に医療行政の仕組みについて講義形式の授業を行っている。		

日程表(歯科医師のコンピテンシー I)

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	6	9	火	1	コンピテンシーとは, 歯科医学教育とは, 学修のあり方 入門	角 忠輝	講義室3B
2回	6	9	火	2	歯学教育モデル・コア・カリキュラム	角 忠輝	講義室3B
3回	6	23	火	1	プロフェッションとは	角 忠輝	講義室3B
4回	6	23	火	2	歯科医師としての責務と裁量 (プロフェショナリズム)	角 忠輝	講義室3B
5回	6	30	火	1	医と生命倫理 1	平田創一郎	講義室3B
6回	6	30	火	2	医と生命倫理 2	平田創一郎	講義室3B
7回	7	7	火	1	歯科医師としての責務と裁量 (プロフェショナリズム)	角 忠輝	講義室3B
8回	7	7	火	2	歯科医師としての責務と裁量 (プロフェショナリズム)	角 忠輝	講義室3B

口腔生命科学総論（1年次生、2年次生、3年次生）

(1) 骨学及び同実習	(1年) 34
(2) 解剖学及び同実習	(2年) 36
(3) 発生学	(2年) 42
(4) 組織学及び同実習	(2年) 45
(5) 生理学	(2年) 48
(6) 生理学実習	(2年) 51
(7) 生化学	(2年) 54
(8) 生化学実験	(2年) 56
(9) 歯科理工学Ⅰ	(3年) 58
(10) 歯科理工学Ⅱ	(3年) 60
(11) 歯科理工学Ⅲ	(3年) 62
(12) 病理学総論及び同実習	(3年) 64
(13) 微生物学・口腔微生物学	(3年) 69
(14) 薬理学及び同実習	(3年) 73
(15) 歯科学のための生物科学	(1年) 77
(16) 歯科学のための物理科学	(1年) 80
(17) 細胞生物学プラクシス	(1年) 83
(18) 細胞生物学入門Ⅰ	(1年) 85
(19) 細胞生物学入門Ⅱ	(1年) 87

年度 2026 学期 1Q	曜日・校時 月・4～6	必修選択 必修	単位数 0.5
科目番号 科目ナンバリング・コード 授業科目名/(英語名)	25014119 DNGD22011901 骨学及び同実習/(Osteology and Practice)		
対象年次 1年次	講義形態 講義・実習形式	教室 歯学部解剖実習室、歯学部講義室 3B、 医学部第2講義室、医学部第1・2実習室	
対象学生(クラス等)	科目分類	口腔生命科学総論	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 小山田常一 /oyamada@nagasaki-u.ac.jp /顎顔面解剖学分野セミナー室/095-819-7627/火、金 16:30～18:00			
担当教員(オムニバス科目等)	歯学部:小山田常一 oyamada@ 医学部:高村敬子、佐伯和信、遠藤大輔、西啓太		
授業の概要 系統解剖学の基礎である骨格系について理解する。骨格系の構成とその機能について把握した上で、各骨の詳細な形態・構造について理解する。靭帯・関節・筋・脈管・神経・体腔などとの関係を考慮に入れて、骨の形態・構造を理解していくことが重要である。特に受動的運動器官として、靭帯・関節・筋との機能的関係について、運動学の立場から理解を深めることが不可欠である。			
授業到達目標 一般目標 GIO: 骨格系について、関節・筋・神経・血管・内臓・感覚器などとの関連性を含めて理解する。 【令和4年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】 個別行動目標 SBOs: (1) 骨格系の構成を説明できる。 A-3-1-2-1 (2) 各骨の形態と構造を機能的観点から説明できる。 A-3-1-2-1 (3) 各骨の連結様式について説明できる。 A-3-1-2-1 (4) 関節の構造と運動様式について説明できる。 A-3-1-2-1 (5) 筋の起始・停止について説明できる。 A-3-1-3-1 (6) 脳・脳神経・視覚器・聴覚器・鼻腔・口腔・咽頭と頭蓋骨との形態学的関係について3次的に説明できる。 A-3-2-2, A-3-2-3, A-3-2-6, A-3-2-8			
対応するディプロマポリシー DP1: 歯科口腔医学に関する基礎知識を身につけている。 DP7: 患者中心の歯科口腔医学を展開するための豊かな人間性と倫理観を身につけている。			
授業方法(学習指導法) 講義で理解した内容を、人体骨格標本を用いた骨学実習で視察・触察し、3次的構造を理解する。プリント、スライド、標本、iOSアプリ等を使用する。			
授業内容 1-3 回目 骨学 (講義・実習) 解剖学総論と骨学総論、 4-6 回目 骨学【医学部1年と共修】(講義・実習) 上肢の骨・脊椎 7-9 回目 骨学【医学部1年と共修】(講義・実習) 下肢の骨・胸郭 10-12 回目 骨学【医学部1年と共修】(講義・実習) 頭蓋① 13-15 回目 骨学【医学部1年と共修】(講義・実習) 頭蓋② 16-18 回目 骨学 (講義) まとめ、骨学実習のまとめ及び筆記試験			
キーワード	骨学、骨格、関節、運動器		
教科書・教材・参考書	教科書:プロメテウス解剖学 エッセンシャルテキスト 第2版(Anne M. Gilroy 著、中野隆ら訳、医学書院) 参考書:分担解剖学(森於兎ら著、金原出版)、骨学実習の手引き(寺田春水ら著、南山堂)等 ※実習内容は、教科書の内容に限定されることはないものとする。		
成績評価の方法・基準等	筆記試験を行い、総合評価が100点満点で60点以上の者を合格とする。なお、総合評価は筆記試験に提出物の評価を加味して総合的に判定する。また必要に応じて、追加の試験を行う。 ※試験内容は、教科書の内容に限定されることはないものとする。		
受講要件(履修条件)	講義・実習には毎回出席し、ノートを取る。質問は随時受け付けるが、オフィスアワーでも受け付ける。面談の際はあらかじめメールで時間調整を行うこと。		
備考(学生へのメッセージ)	参考書などで十分に予習を行っておくこと。		
実務経験のある教員による授業科目	・小山田 常一 / 歯科医師として歯科医院での実務経験 / 歯科医院での実務経験を基に講義・実習指導を行う。		

日程表

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1～3回	4	6	月	4～6	骨学(講義・実習) 解剖学総論と骨学総論	小山田常一	解剖実習室 または講義室3B
4～6回	4	13	月	4	骨学(講義) 上肢の骨・脊椎 【医学部1年と共修】	遠藤大輔	第2講義室(医)
				5～6	骨学(実習) 上肢の骨・脊椎 【医学部1年と共修】	小山田常一 高村敬子 佐伯和信 遠藤大輔 西啓太	第1・2実習室(医)
7～9回	4	20	月	4	骨学(講義) 下肢の骨・胸郭 【医学部1年と共修】	遠藤大輔	第2講義室(医)
				5～6	骨学(実習) 下肢の骨・胸郭 【医学部1年と共修】	小山田常一 高村敬子 佐伯和信 遠藤大輔 西啓太	第1・2実習室(医)
10～12回	4	27	月	4	骨学(講義) 頭蓋① 【医学部1年と共修】	小山田常一	第2講義室(医)
				5～6	骨学(実習) 頭蓋① 【医学部1年と共修】	小山田常一 高村敬子 佐伯和信 遠藤大輔 西啓太	第1・2実習室(医)
13～15回	5	11	月	4	骨学(講義) 頭蓋② 【医学部1年と共修】	小山田常一	第2講義室(医)
				5～6	骨学(実習) 頭蓋② 【医学部1年と共修】	小山田常一 高村敬子 佐伯和信 遠藤大輔 西啓太	第1・2実習室(医)
16～18回	5	25	月	4	骨学(講義) まとめ	小山田常一	解剖実習室 または講義室3B
				5～6	骨学実習のまとめ及び筆記試験	小山田常一	解剖実習室 または講義室3B

年度 2026 学期 1・2Q	曜日・校時 月・1	必修選択 必修	単位数 1
科目番号	25064416		
科目ナンバリング・コード	DNMC22011098		
授業科目名/(英語名)	歯科学のための物理科学/(Physical Science for Dentistry)		
対象年次 1年次	講義形態	講義形式	教室 講義室 3B
対象学生(クラス等)	歯学部	科目分類	口腔生命科学総論
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 角 美佐/misa@nagasaki-u.ac.jp/口腔診断・情報科学分野 医局/095-819-7709 (PHS 98912)/16 時～			
担当教員(オムニバス科目等)	第1部:角 美佐, 第2部:田代 茂樹, 第3部:村田 比呂司		
授業の概要 歯科学(歯科放射線学および歯科補綴学)を学ぶために必要な物理科学の講義を行い, 歯科学における物理科学的な理解を深める。			
授業到達目標		【令和4年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】	
一般目標 GIO:		D-2-5-9	
歯科学(歯科放射線学および歯科補綴学)を学ぶために必要な物理科学の理解を深める。		D-2-5-1～3	
個別行動目標 SBOs:		B-2	
○ 磁気共鳴撮像法の原理を説明できる。			
○ 基礎放射線学や生物物理科学の基礎を説明できる。			
○ 歯科材料の国際規格およびレオロジーの基礎を説明できる。			
対応するディプロマポリシー DP1: 歯科口腔医学に関する基礎的知識を身につけている。			
授業方法(学習指導法) 液晶プロジェクター, パソコン(LACS), プリント類の配付, 板書などにより授業を進める。また, 理解度を測るため小テストを実施し, 担当教員によっては課題レポートの提出を求める。			
授業内容 (概要) 本授業は次の4部から構成されている。 第1部(第1～5回): 角 美佐 磁気共鳴撮像法(MRI)の原理と特徴について解説する。 第2部(第6～10回): 田代 茂樹 歯科学, 生物学研究に必要な基礎的な物理科学について解説する。 第3部(第11～15回): 村田 比呂司 歯科材料の国際規格および物性評価に必要なレオロジーについて解説する。 (内容) 1回目: 磁気共鳴撮像法(MRI)の原理と特徴(1) 2回目: 磁気共鳴撮像法(MRI)の原理と特徴(2) 3回目: 磁気共鳴撮像法(MRI)の原理と特徴(3) 4回目: 磁気共鳴撮像法(MRI)の原理と特徴(4) 5回目: 磁気共鳴撮像法(MRI)の原理と特徴(5) 6回目: 基礎放射線学, 生物物理科学を中心とした講義, 演習(1) 7回目: 基礎放射線学, 生物物理科学を中心とした講義, 演習(2) 8回目: 基礎放射線学, 生物物理科学を中心とした講義, 演習(3) 9回目: 基礎放射線学, 生物物理科学を中心とした講義, 演習(4) 10回目: 基礎放射線学, 生物物理科学を中心とした講義, 演習(5) 11回目: 歯科材料のISO国際規格(1) 12回目: 歯科材料のISO国際規格(2) 13回目: レオロジーの基礎(1) 14回目: レオロジーの基礎(2)と応用(1) 15回目: レオロジーの応用(2)			
キーワード	磁気共鳴撮像法, 基礎放射線学, 生物物理科学, レオロジー, ISO(国際標準化機構)		
教科書・教材・参考書	教材としてプリント等を配付することがある。		
成績評価の方法・基準等	3名の担当教員が, 授業中に実施する小テストや課題レポート等により, それぞれ34点満点で評価し, 各教員の評価において20点以上を合格とする。3名の合計点を100点満点に調整し最終評価する。		
受講要件(履修条件)	3名の各教員の講義を2回以上かつ全体の2/3以上出席しなければ, 成績評価の対象とならない。		
備考(学生へのメッセージ)	教材として配付された資料がある場合は確実に予習・復習して授業と小テストに臨むこと。		

実務経験のある 教員による授業 科目	・角 美佐(第 1～5 回)/長崎大学病院における画像診断業務/最も重要な画像診断モダリティである MRI の原理を理解するために必要な核磁気共鳴に関する講義を行う ・村田 比呂司(第 11～15 回)/長崎大学病院における歯科補綴診療業務/歯科補綴学を学ぶ上で必要 なレオロジーに関する講義を行う
--------------------------	--

日程表(歯科学のための物理科学)

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	4	13	月	1	磁気共鳴撮像法(MRI)の原理と特徴(1) 核磁気共鳴現象について 小テストを行う。	角	講義室3B
2回	4	20	月	1	磁気共鳴撮像法(MRI)の原理と特徴(2) 緩和現象について 小テストを行う。	角	講義室3B
3回	4	27	月	1	磁気共鳴撮像法(MRI)の原理と特徴(3) MRI信号の画像化について 小テストを行う。	角	講義室3B
4回	5	11	月	1	磁気共鳴撮像法(MRI)の原理と特徴(4) MR画像のコントラストについて 小テストを行う。	角	講義室3B
5回	5	18	月	1	磁気共鳴撮像法(MRI)の原理と特徴(5) まとめ 小テストを行う。	角	講義室3B
6回	5	25	月	1	基礎放射線学, 生物物理科学を中心とした講義, 演習(1) 歯科学, 生物学研究に必要な基礎的な物理科学についてLACSを用いて講義し, 理解度を確認するための小テストを行う。	田代	講義室3B
7回	6	1	月	1	基礎放射線学, 生物物理科学を中心とした講義, 演習(2) 歯科学, 生物学研究に必要な基礎的な物理科学についてLACSを用いて講義し, 理解度を確認するための小テストを行う。	田代	講義室3B
8回	6	8	月	1	基礎放射線学, 生物物理科学を中心とした講義, 演習(3) 歯科学, 生物学研究に必要な基礎的な物理科学についてLACSを用いて講義し, 理解度を確認するための計算問題テストを行う。レポート課題の提示を行う。	田代	講義室3B
9回	6	15	月	1	基礎放射線学, 生物物理科学を中心とした講義, 演習(4) 歯科学, 生物学研究に必要な基礎的な物理科学についてLACSを用いて講義し, 理解度を確認するための疑似国試問題テストを行う。レポートを提出。	田代	講義室3B
10回	6	22	月	1	基礎放射線学, 生物物理科学を中心とした講義, 演習(5) 歯科学, 生物学研究に必要な基礎的な物理科学についてLACSを用いて講義し, 疑似国試問題テスト回答およびレポート評価についての解説を行う。	田代	講義室3B
11回	6	29	月	1	歯科材料のISO国際規格(1) 評価に必要な物理学的性質(1) 小テストを行う。	村田	講義室3B
12回	7	6	月	1	歯科材料のISO国際規格(2) 評価に必要な物理学的性質(2) 小テストを行う。	村田	講義室3B
13回	7	13	月	1	レオロジーの基礎(1) 弾性, 粘性について 小テストを行う。	村田	講義室3B
14回	7	21	火	1	レオロジーの基礎(2)と応用(1) 静的粘弾性及び動的粘弾性, 歯科材料への応用 小テストを行う。	村田	講義室3B
15回	7	27	月	1	レオロジーの応用(2) 歯科材料への応用及びバイオレオロジー 小テストを行う。	村田	講義室3B

年度 2026 学期 1・2Q	曜日・校時 火・4～5	必修選択 必修	単位数 2
科目番号	25064404		
科目ナンバリング・コード	DNMC11011098		
授業科目名/(英語名)	細胞生物学プラクシス/(Praxis of Cell Biology)		
対象年次 1年次	講義形態	講義・発表形式	教室 講義室 3B
対象学生(クラス等)		科目分類	口腔生命科学総論
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 伊藤公成/itok@nagasaki-u.ac.jp/A棟7階707号室/095-819-7487(内7487)/12:00～13:00			
担当教員(オムニバス科目等)	小山田常一/oyamada@、上野智也/uenot@、筑波隆幸/tsuta@、野口東美/az-noguchi@、中村渉/wataru_nakamura@、門脇知子/tomokok@、伊藤公成/itok@		
授業の概要 基礎歯科医学を学ぶ上で基本となる細胞生物学について演習形式で学習し、理解を深める。			
授業到達目標 細胞の営みの概略を理解し、説明できる。 一般目標 GIO:細胞生物学を中心に、大学で習得すべきライフサイエンスに関する基礎知識を身に付ける。 個別行動目標 SBOs: 【令和4年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】 1. 細胞機能の基本を説明する。 A-1-1, -2, -3, -4, -5 2. 細胞構造の基本を説明する。 A-1-1, -2, -3, -4, -5 3. 組織の発生、個体機能の基本を説明する。 A-2-1, -2, -3, A-2-1, -2, -3			
対応するディプロマポリシー DP1: 歯科口腔医学に関する基礎的知識を身につけている。 DP11: 未来の医療を切り拓くための先端的研究に興味を持ち、歯科口腔医学の発展に貢献できる能力を身につけている。			
授業方法(学習指導法) 細胞生物学に関するテーマについて、小グループで自学自習し、その結果を発表し討論する。			
授業内容 1.2回目 顎顔面解剖学: 顎顔面領域の形態と変化; 講義と発表 3.4回目 分子腫瘍生物学: データサイエンスから読み解く生物学; 講義と発表 5.6回目 歯科薬理学: 膜の構造および膜を通した輸送; 演習と発表 7.8回目 加齢口腔生理学: 体内時計が制御する「規則正しい生活」; 演習と発表 9.10回目 フロンティア生命科学: 細胞内オルガネラとその機能; 演習と発表 11.12回目 硬組織発生再生学: 染色体と細胞核のダイナミクスおよび遺伝子音楽のハーモニー; 講義と発表 13～15回目 分子腫瘍生物学: 正常細胞とがん細胞; 講義と発表			
キーワード	細胞生物学、分子生物学、生化学、分子遺伝学		
教科書・教材・参考書	Essential 細胞生物学 (南江堂)		
成績評価の方法・基準等	授業への積極的な参加状況、成果発表の良否及びレポートを総合的に判断し評価する。		
受講要件(履修条件)			
備考(学生へのメッセージ)	図書館を利用し、関連図書や引用文献を読み、理解を深めること。 発表や討論には積極的に参加すること。 質問等は講義終了後あるいは直接担当教員を訪ねてください。		
実務経験のある教員による授業科目	該当しない。		

日程表(細胞生物学プラクシス)

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	4	7	火	4~5	顎顔面領域の形態と変化／講義	小山田常一	講義室3B
2回	4	14	火	4~5	顎顔面領域の形態と変化／発表	小山田常一	講義室3B
3回	4	21	火	4~5	データサイエンスから読み解く生物学／講義	上野智也	講義室3B
4回	4	28	火	4~5	データサイエンスから読み解く生物学／発表	上野智也	講義室3B
5回	5	12	火	4~5	膜の構造および膜を通した輸送体／演習	筑波隆幸	講義室3B
6回	5	19	火	4~5	膜の構造および膜を通した輸送体／発表	筑波隆幸	講義室3B
7回	5	26	火	4~5	体内時計の神経科学／演習	中村渉	講義室3B
8回	6	2	火	4~5	体内時計の生理学／発表	中村渉	講義室3B
9回	6	9	火	4~5	細胞内オルガネラとその機能／演習	門脇知子	講義室3B
10回	6	16	火	4~5	細胞内オルガネラとその機能／発表	門脇知子	講義室3B
11回	6	23	火	4~5	染色体と細胞核のダイナミクスおよび遺伝子音楽のハーモニー／講義	野口東美	講義室3B
12回	6	30	火	4~5	染色体と細胞核のダイナミクスおよび遺伝子音楽のハーモニー／発表	野口東美	講義室3B
13回	7	7	火	4~5	正常細胞とがん細胞／講義	伊藤公成	講義室3B
14回	7	14	火	4~5	正常細胞とがん細胞／発表	伊藤公成	講義室3B
15回	7	21	火	4~5	正常細胞とがん細胞／発表	伊藤公成	講義室3B

年度 2026 学期 1・2Q	曜日・校時 月・2 火・2 (4 回目)	必修選択 必修	単位数 1
科目番号 科目ナンバリング・コード 授業科目名/(英語名)	25064406 DNMC11021098 細胞生物学入門 I / (Essential Cell l Biology I)		
対象年次 1 年次	講義形態 講義形式	教室 講義室 3B	
対象学生(クラス等)	科目分類	口腔生命科学総論	
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 伊藤公成/itok@nagasaki-u.ac.jp/A 棟 7 階 707 号室/095-819-7487(内 7487)/12:00~13:00			
担当教員(オムニバス科目等)	大谷昇平/s-otani@, 佐藤啓子/satou@, 上野智也/uenot@, 伊藤公成/itok@		
授業の概要 歯科医学を学ぶ上で基本となる細胞生物学について理解する。			
授業到達目標 細胞の構造・機能の概略を理解し、説明できる。 一般目標 GIO:細胞生物学を中心に、大学で習得すべきライフサイエンスに関する基礎知識を身に付ける。 個別行動目標 SBOs: 【令和4年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】 1. 細胞機能の基本を理解する。 A-1-1, -2, -3, -4, -5 2. 細胞構造の基本を理解する。 A-1-1, -2, -3, -4, -5 3. 組織、個体機能の基本を理解する。 A-2-1, -2, -3, A-2-1, -2, -3 4. 生命科学の解析法の基本を理解する A-1-3-5, -6			
対応するディプロマポリシー DPI: 歯科口腔医学に関する基礎的知識を身につけている。			
授業方法(学習指導法) 液晶プロジェクター及び板書を中心とし、教科書に沿って単元ごとに講義を行う。教科書を用いるので、該当する項目に関して予習をしてきてください。			
授業内容 1 回目 細胞:生命の基本単位: 細胞について、研究対象としてのモデル生物について学ぶ (1 章)。 2, 3 回目 細胞の化学成分: 生命体はすべて化学と物理学の法則に従う。細胞を構成する分子の化学とそれらの相互作用の基礎を学ぶ (2 章)。 4, 5 回目 エネルギー, 触媒作用, 生合成: 生物におけるエネルギー変換に必須である酵素の触媒作用について学ぶ (3 章)。 6~8 回目 タンパク質の構造と機能, DNA と染色体: タンパク質の構造はアミノ酸配列によって決まることを理解し, 個々のタンパク質の機能と密接に関連することを学ぶ (4 章)。 DNA と染色体の構造について学ぶ(5 章)。 9, 10 回目 DNA の複製と修復: DNA 複製と DNA 修復の機構について学ぶ (6 章)。 11~13 回目 DNA からタンパク質へ, 遺伝子発現の調節: 細胞がゲノム DNA を読み取るしくみを学ぶ (7 章)。転写因子の重要性について学ぶ (8 章)。 14, 15 回目 遺伝子の構造と機能解析: 現在のライフサイエンスで使用される遺伝子解析手法について学ぶ (10 章)。			
キーワード	細胞、遺伝子、タンパク質		
教科書・教材・参考書	Essential 細胞生物学 (南江堂)		
成績評価の方法・基準等	定期試験期間中に行う筆記試験の得点により評価する。		
受講要件(履修条件)			
備考(学生へのメッセージ)	教科書に沿って進められるので、必ず予習をしておくこと。また、質問等は講義終了後あるいは直接担当教員の部屋を訪ねてください。		
実務経験のある教員による授業科目	該当しない。		

日程表(細胞生物学入門 I)

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	4	13	月	2	細胞:生命の基本単位: 細胞について、研究対象としてのモデル生物について学ぶ (1章)。	伊藤公成	講義室3B
2回	4	20	月	2	細胞の化学成分: 生命体はすべて化学と物理学の法則に従う。細胞を構成する分子の化学とそれらの相互作用の基礎を学ぶ (2章)。	伊藤公成	講義室3B
3回	4	27	月	2			講義室3B
4回	5	11	月	2	エネルギー, 触媒作用, 生合成: 生物におけるエネルギー変換に必須である酵素の触媒作用について学ぶ (3章)。	大谷昇平	講義室3B
5回	5	18	月	2			講義室3B
6回	5	25	月	2	タンパク質の構造と機能, DNAと染色体: タンパク質の構造はアミノ酸配列によって決まることを理解し, 個々のタンパク質の機能と密接に関連することを学ぶ (4章)。DNAと染色体の構造について学ぶ (5章)。	佐藤啓子	講義室3B
7回	6	1	月	2			講義室3B
8回	6	8	月	2			講義室3B
9回	6	15	月	2	DNAの複製と修復: DNA複製とDNA修復の機構について学ぶ (6章)。	上野智也	講義室3B
10回	6	22	月	2			講義室3B
11回	6	29	月	2	DNAからタンパク質へ, 遺伝子発現の調節: 細胞がゲノムDNAを読み取るしくみを学ぶ (7章)。転写因子の重要性について学ぶ (8章)。	伊藤公成	講義室3B
12回	7	6	月	2			講義室3B
13回	7	13	月	2			講義室3B
14回	7	21	火	2	遺伝子の構造と機能解析: 現在のライフサイエンスで使用される遺伝子解析手法について学ぶ (10章)。	伊藤公成	講義室3B
15回	7	27	月	2			講義室3B

年度 2026 学期 3・4Q	曜日・校時 月・2 火・2 (5 回目)	必修選択 必修	単位数 1
科目番号	25064407		
科目ナンバリング・コード	DNMC11031098		
授業科目名/(英語名)	細胞生物学入門Ⅱ/(Essential Cell Biology Ⅱ)		
対象年次 1 年次	講義形態 講義形式	教室 講義室 3B	
対象学生(クラス等)	科目分類	口腔生命科学総論	
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 伊藤公成/itok@nagasaki-u.ac.jp/A 棟 7 階 707 号室/095-819-7487(内 7487)/12:00~13:00			
担当教員(オムニバス科目等)	坂井詠子/eiko-s@、永野健一/k-nagano@、森石武史/moriishi@、門脇知子/tomokok@、片瀬直樹/katase@、伊藤公成/itok@		
授業の概要 歯科医学を学ぶ上で基本となる細胞生物学について理解する。			
授業到達目標 細胞の構造・機能の概略を理解し、説明できる。 一般目標 GIO:細胞生物学を中心に、大学で習得すべきライフサイエンスに関する基礎知識を身に付ける。 個別行動目標 SBOs: 【令和4年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】 1. 細胞機能の基本を理解する。 A-1-1, -2, -3, -4, -5 2. 細胞構造の基本を理解する。 A-1-1, -2, -3, -4, -5 3. 組織、個体機能の基本を理解する。 A-2-1, -2, -3, A-2-1, -2, -3 4. 生命科学の解析法の基本を理解する A-1-3-5, -6			
対応するディプロマポリシー DP1:歯科口腔医学に関する基礎的知識を身につけている。			
授業方法(学習指導法) 液晶プロジェクター及び板書を中心とし、教科書に沿って単元ごとに講義を行う。教科書を用いるので、該当する項目に関して予習をしてきてください。			
授業内容 1, 2 回目 膜の構造について学ぶ (11 章) 3, 4 回目 膜輸送について学ぶ (12 章) 5, 6 回目 細胞が食物からエネルギーを得るしくみ:生物におけるエネルギー獲得経路とは何か、またそれらが整然と制御されていることを学ぶ (13 章) 7 回目 ミトコンドリアにおけるエネルギー生産:生物はどのようにしてエネルギー変換機構を獲得したのか、そのエネルギー獲得における膜の役割について学ぶ (14 章) 8, 9 回目 細胞内区画と細胞内輸送:細胞小器官の機能とそれぞれの小器官にタンパク質が輸送されていくしくみを学ぶ (15 章) 10, 11 回目 細胞の情報伝達、細胞骨格について学ぶ (16, 17 章) 12, 13 回目 細胞周期と細胞分裂について学ぶ (18 章) 14, 15 回目 がん化のメカニズムとがん遺伝子・がん抑制遺伝子について学ぶ (20 章)			
キーワード	細胞、遺伝子、タンパク質		
教科書・教材・参考書	Essential 細胞生物学 (南江堂)		
成績評価の方法・基準等	定期試験期間中に行う筆記試験の得点により評価する。		
受講要件(履修条件)			
備考(学生へのメッセージ)	教科書に沿って進められるので、必ず予習しておくこと。また、質問等は講義終了後あるいは直接担当教員の部屋を訪ねてください。		
実務経験のある教員による授業科目	該当しない。		

日程表(細胞生物学入門Ⅱ)

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	9	28	月	2	膜の構造: 脂質二重層, 膜タンパク質(11章)	坂井詠子	講義室3B
2回	10	5	月	2			講義室3B
3回	10	19	月	2	膜輸送: 搬体タンパク質とその機能, イオンチャネルと膜電位, 神経細胞のイオンチャネルとシグナル伝達(12章)	永野健一	講義室3B
4回	10	26	月	2			講義室3B
5回	11	2	月	2	細胞が食物からエネルギーを得るしくみ: 生物におけるエネルギー獲得経路とは何か, またそれらは整然と制御されていることを学ぶ(13章)	森石武史	講義室3B
6回	11	9	月	2			講義室3B
7回	11	16	月	2	ミトコンドリアと葉緑体におけるエネルギー生産: 生物はどのようにしてエネルギー変換機構を獲得したのか。そのエネルギー獲得における膜の役割について学ぶ(14章)	森石武史	講義室3B
8回	11	30	月	2	細胞内区画と細胞内輸送: 細胞小器官の機能とそれぞれの小器官にタンパク質が輸送されていくしくみを学ぶ(15章)	門脇知子	講義室3B
9回	12	7	月	2			講義室1B
10回	12	14	月	2	細胞の情報伝達, 細胞骨格(16,17章)	片瀬直樹	講義室1B
11回	12	21	月	2			講義室3B
12回	1	4	月	2	細胞周期と細胞分裂(18章)	伊藤公成	講義室3B
13回	1	18	月	2			講義室3B
14回	1	25	月	2	がん化のメカニズムとがん遺伝子・がん抑制遺伝子について学ぶ(20章)	伊藤公成	講義室3B
15回	2	1	月	2			講義室3B